

もくじ

02	まちの話題
04	国スポ特集 第2弾
06	多久市からのお知らせ
13	あじさいへ行こう！
14	教育委員会だより
15	市長コラム
16	健康ノススメ
18	おたっしゅだより
20	まちのPickUPインフォメーション
24	Hi! POSE ほか

8月3日[Sat]

多久町防災訓練を実施



▲消防署員からAEDを使った心肺蘇生のレクチャーを受ける参加者

東原摩舎西溪校の東体育館で「多久町防災訓練」(主催：多久町区長会)が行われました。訓練は応急手当、防災講話、炊き出し訓練の3部で構成。多久消防署など外部講師を招いて学びを深めました。

応急手当の訓練では心肺蘇生、AEDの使い方などを学習し、防災講話では、ハザードマップを用いて地域の危険箇所を確認しました。また、炊き出し訓練では、いざというときに役立つ災害食を参加者みんなで作りました。

参加した住民は「これまでも防災訓練に参加した経験がありますが、覚えたことを確認するためにも参加して良かったです」と災害に備えることの大切さを改めて実感されました。

8月15日[Thu]~16日[Fri]

夏を彩る多久山笠開催！



▲JR多久駅前を勇壮な山が通り、多久の夏を彩りました

多久の夏の風物詩「第76回多久山笠」(主催：多久山笠委員会)が今年も盛大に開催されました。2日間にわたって行われ、JR多久駅前の通りは歩行者天国に。多くの来場者に見守られながら、人形山と提灯山が巡行しました。

多久山笠実行委員会総取締の山本茂雄やまもと しげおさんは「今回で76回目を迎え、子どもから大人まで誰もが楽しみにするお祭りになりました。これからは特に子どもたちにとって思い出深い行事となり、大人になっても山笠を引いてくれたらうれしいですね」と笑顔でコメント。フィナーレには花火が打ち上がり、多久の夜空を鮮やかに飾りました。

8月24日[Sat]

孔子の里ジュニアガイド20周年イベント



▲大勢の来訪者を前に堂々と説明するジュニアガイドのみなさん

孔子の里ジュニアガイドが20周年を迎え、記念イベントが公益財団法人孔子の里により開催されました。立ち上げから現在までの間でガイドを務めたのは130人。3,000回以上にもわたって来訪者に多久聖廟や多久の魅力を伝えてきました。

この日はジュニアガイドの卒業生も参加。現役ガイドの説明を聞きながら多久聖廟周辺を歩きました。参加した卒業生は「ジュニアガイドをとおして人前に立つ経験ができ、今に役立っています。後輩たちのガイドを聞けてうれしいです」と喜びの声を寄せました。

当日のガイドを務めた菅井帆純すがい ほの純さんは「先輩たちに感謝しながら活動しています。これからも多くの人に聖廟の魅力を伝えていきたいです」と意欲を見せていました。

今月の論語

秀而不實者有矣夫。

秀ひいでて 実みのらざる者ものあり

出典：子罕第九

才能があっても実らない人がある。人は努力が必要だ。

今月の帰宅放送は、東原摩舎中央校9年の林穂乃華はやしほのかさんです。